

質問及び回答

2022年2月2日時点

番号	質問	回答
1	他機関との連携した形での応募を検討していますが、申請は取りまとめ役が一括して応募申請し、スポーツ庁と3機関各々が契約を行うという手続きは可能でしょうか。もしくは、3機関各々が応募申請する必要はありますか。	一つの事業に対して、複数機関と契約することはできません。 また、3機関各々が応募申請された場合、それぞれの機関の企画提案に対して審査を行うため、採択されない可能性もあります。
2	他機関との連携方法について、再委託ではなく、代表機関と他機関の間でそれぞれ覚書を締結し、実施することは可能でしょうか。	2つ以上の個人、企業、団体等から成るコンソーシアムという形での企画提案は可能となっています。ただし、企画競争への参加資格として法人格を有することとしています。 覚書ではなく、委託契約が必要であり、これは再委託になるものと解します。
3	オンラインプラットフォームを構築する上での条件と予算を教えてください。	女性アスリートの課題に関する知見のほか、支援のノウハウ、研究者や専門家ネットワーク、教育コンテンツ等、女性アスリートを支援する上で、重要な情報がわかりやすく整理され、体系的にまとまっているプラットフォームを想定しています。 本事業は、プラットフォームのみでの事業ではないため、プラットフォーム構築のみでの予算の提示はできません。アスリート支援の事業と合わせて企画提案してください。
4	オンラインプラットフォームの構築は、既存のHPを改修する形でも問題ないでしょうか。また構築するためには一定期間を要しますが、期間は3年間と考えてよいでしょうか。	既存のHPを活用しても可能とします。 委託期間内で構築することを想定していますが、企画提案では、3年度と単年度の計画と目指す成果をそれぞれ示してください。また構築して終了ではなく、その後の活用も含めてご提案ください。
5	「女性アスリート支援プログラム」の採択件数は、企画提案の内容によっては、2件採択される場合もありますか。	原則1件です。
6	過去の実績は、何年前まで記載できますか。	特に決めていません。
7	参加資格に「国などの公的機関の委託事業を受託した実績」とありますが、国以外はどこが該当するのでしょうか。	公的機関とは、国のほか、地方公共団体や独立行政法人を想定しています。
8	「女性アスリート支援プログラム」の予算規模は、3年間で6000万円という理解で良いでしょうか。	令和4年度の金額です。令和5年度以降は同程度を予定していますが、予算によって変動します。
9	委託要項に記載されている「女性アスリートの課題解決型実践プログラム」については、公募を行わないのでしょうか。	現在、公募に向けた準備を進めています。準備が整い次第、ご案内します。
10	「女性アスリート支援プログラム」については、予算額が大きく、特定の機関しか受託できないように見えますが、大学等が連携して応募することも想定されているのでしょうか。	「女性アスリート支援プログラム」は、女性のトップアスリートへの継続な支援を最大の目的としています。趣旨に合う企画提案をしていただければ、ぜひご応募ください。
11	事業の一部を再委託する場合、再委託契約における経費の予算額に制限はありますか。	再委託事業の予算額に制限はありませんが、事業のすべてを再委託することは禁じられています。